

2014 環境報告書

Environmental Report 2014

第1章 概要

ごあいさつ	1
環境方針	2
環境への影響	3
プラスの環境目的・目標と実績	4

第2章 環境マネジメントシステム

環境管理体制	5
監査結果	6

第3章 環境負荷低減への活動

太陽光発電を4倍に	7
地下水や排熱を利用した空調	7

第4章 地域社会とのコミュニケーション

献血活動で感謝状	8
琵琶湖・余呉湖一斉清掃活動に参加	8
地元神戸のイベントに参画し、 展示車実演	8
社会貢献活動を推進する 一般財団法人を設立	9

第5章 サイト別環境パフォーマンス実績表

本社	10
営業部	11
滋賀事業所	11

環境保全活動のあゆみ

アンケート

編集方針・報告書の範囲

編集方針 「環境報告書2014」は、環境省が発行した「環境報告書ガイドライン」を参考に編集しています。また、環境目的・目標や具体的な取り組み状況、サイト別の環境パフォーマンスについては、できるだけ写真やグラフを活用いたしました。

対象期間 2013年度(2013年1月1日～2013年12月31日)

対象範囲 この環境報告書は、下記事業所すべてを対象範囲としています。

■兵神装備株式会社

本社、滋賀事業所、技術研究所、サービスアネックス、東京支店、大阪支店、さいたまオフィス、横浜オフィス、滋賀オフィス、名古屋営業所、福岡営業所

■エイシンテクノベルク株式会社

本社、滋賀事業所

発行部署 兵神装備株式会社 全社環境事務局

〒652-0852 神戸市兵庫区御崎本町1-1-54

TEL:078-652-1111 FAX:078-652-4504

発行日 2014年6月30日(次回発行予定:2015年6月)



兵神装備株式会社

代表取締役社長 小野純夫

近年、企業の社会的責任が問われる時代になってきました。企業は利益を追求するだけでなく、その活動が社会に与える影響に責任を持ち、法令や企業倫理を遵守し、地球環境への配慮や地域社会への貢献を積極的に果たすべきであると考えられています。

このような考え方に沿って、昨年はいくつかの施策を実行しました。まず太陽光発電システムを滋賀事業所内3カ所に増設し、既設分と合わせ計410kWの電力を確保することで、事業に伴う環境負荷の低減を図りました。次に全拠点を横断するBCM(事業継続)実行組織を立ち上げ、災害から社員の生命を守るとともに、事業を継続できる仕組みを構築し、合わせて有事の際に適切な行動が取れるよう教育訓練を行いました。また社員の倫理観を高め、事業に必要な法令の理解と遵守を徹底するよう、全社員を対象にコンプライアンス教育を実施しました。

加えて、企業の社会貢献活動を本格的に推進するための母体として、一般財団法人2法人を設立しました。当社が事業で得た利益の一部を社会に還元し、日本のものづくり人材の育成や、各種ボランティア活動を支援していきたいと考えています。

一方、昨年は嫌気性接着剤にも対応するマイクロディスペンサー「HD-R型」や長期安定した寿命を持つ脱水ケーキ用ステーター「SHD」を開発しました。これらの製品の販売により、資源の有効利用を通じて社会に貢献していきます。

また、琵琶湖・余呉湖一斉清掃活動への参加や、神戸市の主催する「"ものづくり"工場まち歩き」イベントへの参画など、地域社会とのつながりを深める動きも引き続き推進しました。

この報告書をお読みいただくことで、当社の環境保全や社会貢献の取組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

環境理念

当社は、地球環境保全を人類共通の最重要課題と認識し、環境にやさしい製品づくりを通し、事業活動のあらゆる面で、「持続的発展が可能な社会」の構築に貢献いたします。

スローガン

限りある資源を大切にし、環境にやさしい製品を創り続けます。

基本方針

当社は、広く産業界で多様なニーズに応えるヘイシンモノポンプの開発・生産・販売をしています。

そして、その事業活動において環境に影響を及ぼす可能性を持っています。

私たちは、これらの環境への負荷を削減するだけでなく良い影響を与えるための組織体制・管理システムを確立し、継続的に下記の活動に取り組んでいきます。

1. 下記の項目に目標を設定して取り組み、その達成状況を確認し、状況に応じて改善していきます。
 - ① 廃棄物の削減及び適正処理
廃棄物の削減・分別収集、再利用の促進、適正処理を行います。
 - ② 排水の適正処理
化学物質の適正処理、関連装置の改善により排出物の削減と適正処理に努めます。
 - ③ 資源・エネルギーの効率利用
資源・エネルギーの効率的な利用により環境への負荷を削減し、資源のリサイクル活動・グリーン調達に努めます。
 - ④ 環境にやさしい製品の設計・開発
有害物質を排除した製品や省エネ、長寿命化製品の設計・開発に努めます。
 - ⑤ 環境製品の販売促進活動
省資源・省エネに貢献するグリーン製品の販売促進に努めます。
2. 環境法令・条例・協定、その他当社が受入を決めた要求事項に関し、社内自主基準を定め、徹底遵守いたします。
3. 環境教育、広報活動を行い、全社員が環境方針を理解し、環境保全意識の向上を図るよう努めます。
4. 緊急事態発生時の環境汚染被害を最小限にするため、予防・緊急時対応に万全を期します。
5. ISO14001 に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、維持・改善に努めます。

2003年1月

兵神装備株式会社
ヘイシンテクノバルク株式会社
代表取締役社長 小野 純夫

当社は、

- 「モノポンプ」の専門メーカーとして、その研究開発・設計、製造、販売、メンテナンスサービスを行っています。
- 事業所内での諸活動による環境負荷は、エネルギー消費に伴う二酸化炭素の排出、廃液、廃プラスチック、一般廃棄物が主なものです。
- 省エネルギー、廃棄物の削減、化学物質の管理を活動の柱とし、全社的なあらゆる活動において、環境負荷低減に取り組んでいます。



プラスの環境目的・目標と実績

前年に引き続き、省エネルギー・省資源・長寿命化製品の開発・設計・製造・販売を推進しました。

■ 嫌気性接着剤にも対応するマイクロディスペンサー「HD-R型」

ネジのゆるみ防止や機械部品の嵌合部の接着など、自動車・機械・電機といった様々な業界で使われる嫌気性接着剤を高精度で塗布するマイクロディスペンサー「HD-R型」を開発しました。

嫌気性接着剤は、空気が遮断された状態で金属イオンと反応すると硬化します。当社の標準ディスペンサーは金属部品で構成されているため、この接着剤は製品内で固まり使えませんでした。新シリーズではケーシングやノズルなどの接液部に特殊樹脂材料を採用することでこの問題を解決しました。資源の無駄な消費を防ぐことで、自動車メーカー様でのエンジンへの塗布テスト等でも高い評価を得ています。



マイクロディスペンサー「HD-R型」

■ 長期安定した寿命を持つ脱水ケーキ用ステーター

下水処理場などで使用される脱水ケーキ(※)移送ポンプ用として、「SHDステーター」を開発しました。

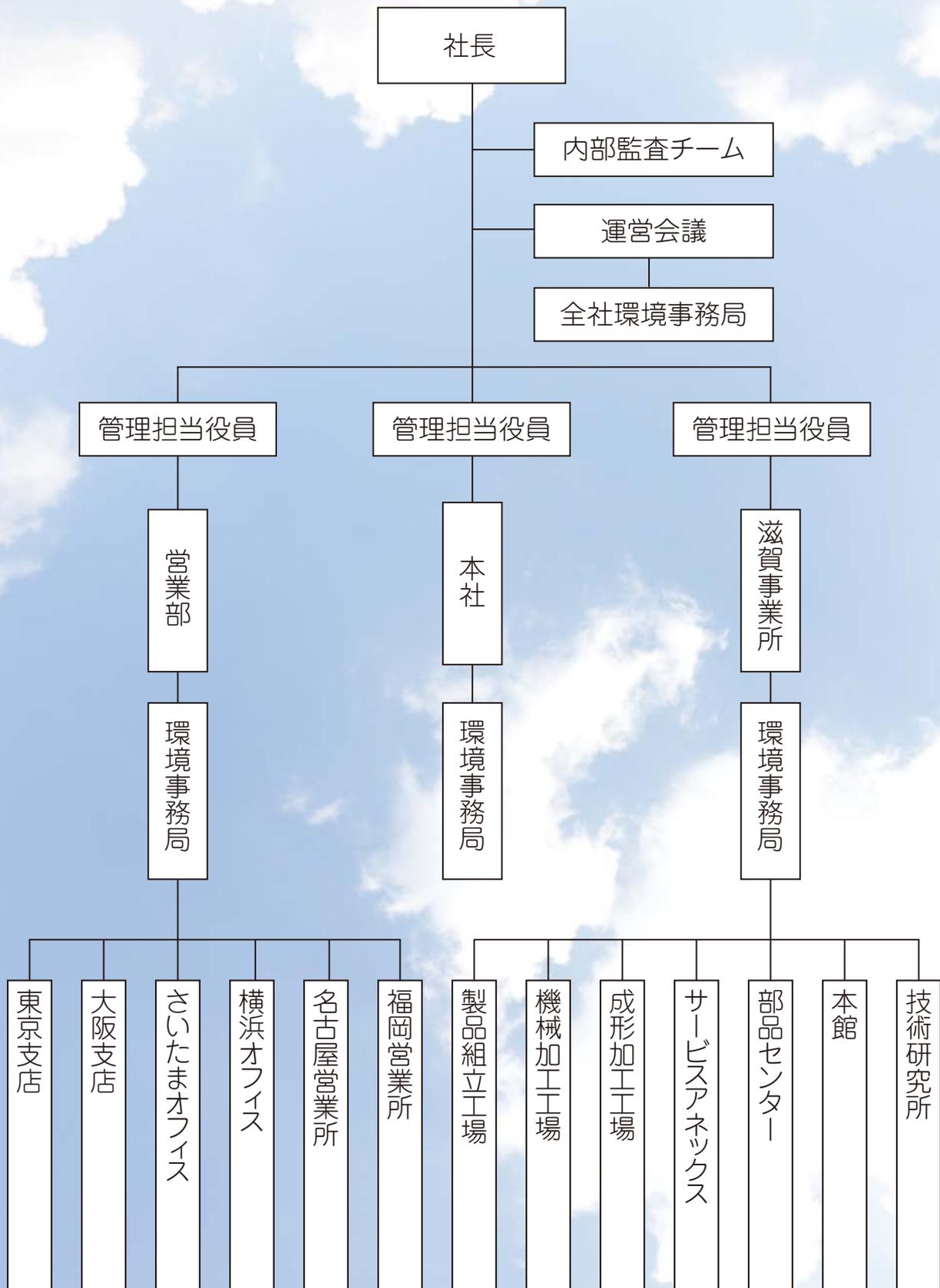
脱水ケーキは、移送液中の水分が少なく流動性が乏しいため、パイプ移送をするときに抵抗が大きくなります。そのため、移送用ポンプのステーターには、① 配管の圧力上昇に耐えること ② 流動性が乏しい液でも摩耗しにくいこと ③ 水や熱の影響で劣化しにくく長期使用に耐えられること - 等が求められていました。

SHDステーターはこれらの要求を満たす材料配合を実現し、製品の長寿命化を達成しました。

※脱水ケーキ・・・汚泥などを脱水機にかけて水分を除去したあとに残った固形物



SHDステーター



内部監査

廃棄物処理や電力削減の状況、及び遵法確認を中心とした内部監査を実施しています。2013年度は技術研究所で1件、改善指摘事項がありましたが、その後速やかに是正処置がされており、問題なく環境マネジメントシステムが運用されていることを確認しました。



外部監査

ISO14001のサーベイランス(維持)監査が、7月22日～25日の4日間にわたり、本社、東京支店、滋賀事業所にて行われました。いずれも不適合事項はありませんでした。



■ 太陽光発電を4倍に

滋賀事業所の成形加工工場、機械加工工場、技術研究所の屋根の上に太陽光発電設備を増設しました。従来より稼働している110kWに加え、新たに設置したパネルは300kWで、滋賀事業所全体で410kWの太陽光発電設備が設置されたことになり、従来の約4倍の発電量となりました。

今回設置した300kWで発電された電気はすべて関西電力へ売電され、社会貢献も果たしています。



滋賀事業所の太陽光パネル

■ 地下水や排熱を利用した空調

滋賀事業所に地下水を利用して冷房するファンコイルを増設しました。これにより、製品組立工場、成形加工工場、技術研究所の建屋全体が冷房され、以前よりも3℃～5℃室温を下げることができました。

また、一昨年導入したガスコージェネレーションの排熱を利用した温水暖房システムも製品組立工場の南事務所に導入しました。夏に冷房で使用するファンコイルに、冬は温水を送って暖房するもので、エネルギーの有効利用を図っています。

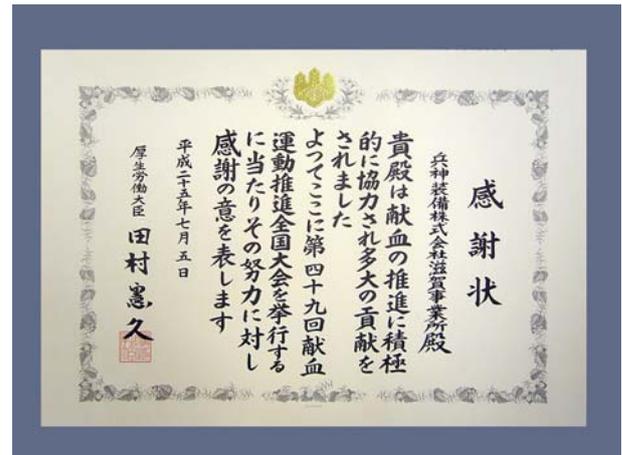


製品組立工場のファンコイル

■ 献血活動で感謝状

滋賀事業所が、平成25年度の献血功労者として表彰され、「厚生労働大臣感謝状」をいただきました。この賞は、献血運動の推進に積極的に協力し、他の模範となる実績を示した団体に贈られるものです。本年度は全国で302団体、滋賀県下で5団体が受賞しています。

今回の受賞は、24年もの永きにわたる献血に加え、年2回の安定した献血実績（最近の10年間で延べ500人分）が評価されたものです。



感謝状

■ 琵琶湖・余呉湖一斉清掃活動に参加

「びわ湖の日」の7月1日に行われた「琵琶湖・余呉湖一斉清掃活動」に滋賀事業所から7名が参加しました。この清掃活動は、「美しい長浜をつくる会」と長浜市が主催する活動です。琵琶湖をはじめとする環境の恵みに感謝し、長浜市域の環境を守り育てる意識の高揚を図るため、この日に毎年行われています。

当日は、豊公園周辺、西野水道（余呉川の放水路）周辺に分かれて、2時間ほど湖岸のゴミ拾いを行いました。



一斉清掃の様子

■ 地元神戸のイベントに参画し、展示車実演

兵庫区役所が主催する「”ものづくり”工場まち歩き」というイベントに参画しました。地元市民と区役所の職員、計30名の皆様に11月14日本社に来社いただき、展示車の実演による製品説明を行いました。

幼児から大人まで幅広い年齢層だったため、神戸市の奥平野浄水場など生活に身近な納入事例を具体的に紹介するなど、丁寧な説明に努めました。

事務局の方からは「難しい産業機械を解りやすく説明していただき、楽しい時間を過ごせました」とコメントをいただきました。



展示車を見学するイベント参加者

■ 社会貢献活動を推進する一般財団法人を設立

企業の社会貢献活動を推進するための母体として、2013年11月に一般財団法人2法人を設立しました。両法人とも当社の利益の一部を活動原資として運営されます。

1つの法人は、ものづくりに関する事業、活動、人材育成などを資金面から支援する「一般財団法人ヘイシンものづくり育英会」です。同法人は、日本のものづくりを発展させ、豊かで幸福な社会の実現に寄与することを目的としています。支援する事業等は広く社外より募ります。

もう1つの法人は、社員のボランティア活動を支援する「一般財団法人ヘイシンイニシアティブ基金」です。同法人は、公益活動によって社会の機能向上に寄与することを目的とし、この活動を通じた社員のグローバルな成長も狙いとしています。支援対象活動は社員から広く募集します。

本社

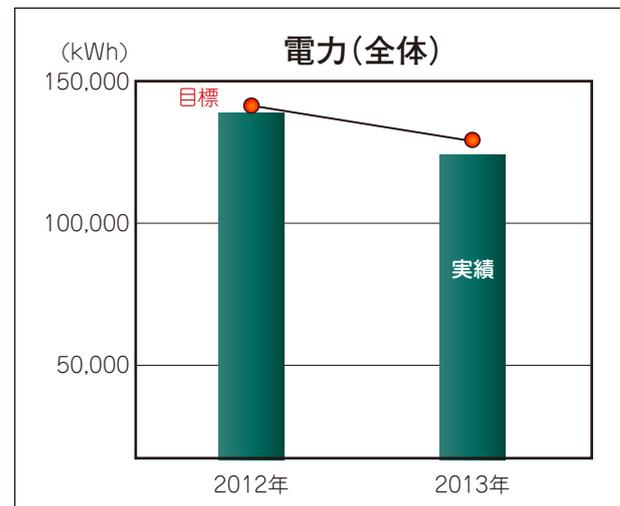
環境側面	2012年		2013年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	141,572	139,192	136,408	134,530

2013年度の環境目標は、2012年度の年間購入電力量(139,192kWh)の-2%でしたが、その後関西電力から夏期に節電要請(7月~9月のデマンドピーク値を2010年実績値に対し9%削減)があり、これを追加目標としました。また冬期については、経済産業省、関西電力ともに数値目標設定の要請はなかったため、前年度並のレベルを目標としました。

これらに対応すべく、節電対策として、

- ・社内サーバーの統合による消費電力削減
- ・天井にサーキュレーターを取り付け、部屋の風流を改善などの対策を実施しました。

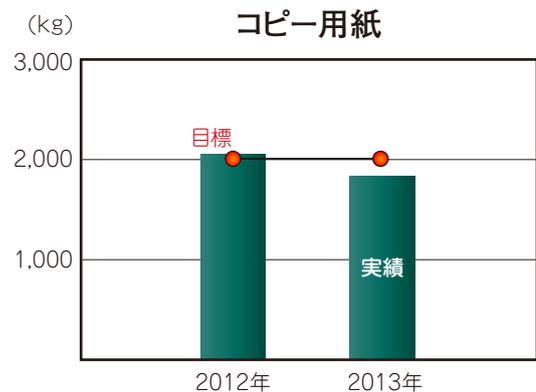
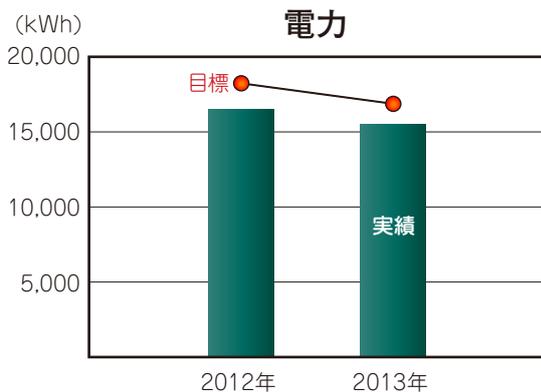
この結果、購入電力量は2012年度比で-3.3%を達成しました。



営業部

環境側面	2012年		2013年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	185,727	165,930	165,930	156,582
コピー用紙(kg)	2,058	2,062	2,062	1,910

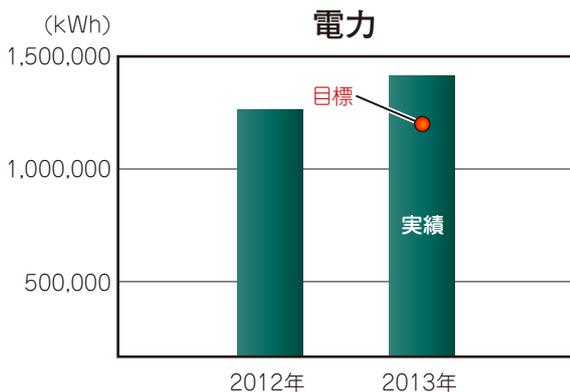
電力・コピー用紙とも目標(前年度維持)を達成し削減することができました。2014年度に関しましても、前年度の実績を維持することを目標とします。本年度は、モノポンプの活用によりお客様の消費電力削減に役立つ事例・使用方法を紹介するリーフレットを作成しお客様訪問時や展示会等で積極的に配布・ご説明をしていきます。



滋賀事業所

環境側面	2012年		2013年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	-	1,363,370	1,336,101	1,404,618

滋賀事業所では、2013年度から目標となる電力の対象範囲を再設定し、研究開発に使用する連続運転設備など変動要因の大きい部分を全体から除外しました。その上で数値的な目標を対前年比-2%としましたが、2013年の実績は+5%となりました。増加した要因としては、これまで空調がなかった各工場に空調設備を導入したためと考えられます。電力使用量は増加していますが、今回導入した空調設備は地下水を利用しており、省エネかつ作業環境の改善に繋がっています。なお、滋賀事業所全体の総電力消費量では前年度比-0.5%となっています。



当社の活動

<ul style="list-style-type: none"> • 滋賀工場でISO14001認証取得に向けたエコプロジェクト発足/環境方針制定 	1998
<ul style="list-style-type: none"> • 滋賀工場ISO14001認定取得 	1999
<ul style="list-style-type: none"> • 環境報告書2001発行 	2000
<ul style="list-style-type: none"> • 全社に拡大してISO14001認定取得を目指すことに決定、全社環境綱領の制定 	2001
<ul style="list-style-type: none"> • 拡張監査・滋賀工場更新審査 • 全社ISO14001認定取得 	2002
<ul style="list-style-type: none"> • 化学物質管理委員会発足 • グリーン調達推進委員会発足、説明会開催 • 化学物質管理規定発行 • 滋賀工場に環境適合機能を誇る技術研究所を開設 	2003
<ul style="list-style-type: none"> • アスベスト不使用で代替品に切り替え、ホームページでもアスベスト不使用宣言 • ノンタールエポキシ塗料、鉛フリー塗料に切り替え下水道事業団仕様に対応 • 環境報奨規定を制定 • 本社ビルを環境適合機能化ビルにリニューアル 	2004
<ul style="list-style-type: none"> • 技術研究所で太陽光発電システムを稼働 • 神戸本社で太陽光発電システムを導入 • 製品/ヘイシンロボディスペンスーシリーズに分解・洗浄性を高め、残液ロス低減の新製品をラインアップ 	2005
<ul style="list-style-type: none"> • 環境材料分科会を滋賀工場で開催（滋賀県東北部工業技術センター主催） • サービスアネックス工場を環境に配慮してリニューアル • 滋賀工場に環境最適機能を誇るヘイシンテクノパルクテクニカルセンターを開設 • 本社の外構を環境に配慮してリニューアル • 製品/脱水ケーキ圧送用途で環境に優しいNZF型ポンプを新発売 	2006
<ul style="list-style-type: none"> • 環境材料分科会を滋賀工場で開催（滋賀県東北部工業技術センター主催） • サービスアネックス工場を環境に配慮してリニューアル • 滋賀工場に環境最適機能を誇るヘイシンテクノパルクテクニカルセンターを開設 • 本社の外構を環境に配慮してリニューアル • 製品/脱水ケーキ圧送用途で環境に優しいNZF型ポンプを新発売 	2007

世の中の動き

<ul style="list-style-type: none"> • 地球温暖化対策推進法制定 	1998
<ul style="list-style-type: none"> • PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律）制定 	1999
<ul style="list-style-type: none"> • 環境型社会形成推進基本法制定 • グリーン購入法制定 • 建設資材リサイクル法制定/食品リサイクル法制定 • 資源有効利用促進法制定 	2000
<ul style="list-style-type: none"> • 環境省発足 • 家電リサイクル法施行 	2001
<ul style="list-style-type: none"> • PRTR法完全施行 • 土壌汚染対策法制定 • エネルギー政策基本法制定 • 地球温暖化対策推進法改正 	2002
<ul style="list-style-type: none"> • WEEE（EU廃電気電子機器リサイクル指令）発効 • RoHS（EU電気電子機器危険物質使用制限指令）発効 • 首都圏ディーゼル車規制施行 • 環境教育推進法施行 	2003
<ul style="list-style-type: none"> • 気候変動枠組条約第10回締結国会議（COP10 アルゼンチン） • 国際環境規格ISO14001-2004年版発行 • 大気汚染防止法改正 	2004
<ul style="list-style-type: none"> • 自動車リサイクル法完全施行 • 京都議定書発効 • 日本国際博覧会「愛・地球博」が愛知県を舞台に開催 • COP11 カナダ・モントリオールで開催 	2005
<ul style="list-style-type: none"> • COP12 ケニア・ナイロビで開催 • RoHS指令開始（EU） • REACH採択（EU） 	2006
<ul style="list-style-type: none"> • G8ハイリゲンダムサミット開催（ドイツ） • COP13 インドネシア・バリで開催 • パリロードマップ採択 • 食品リサイクル法改正 • フロン回収破壊法改正 	2007

当社の活動

- 滋賀工場オープンカンパニーを開催
- 製品/環境に優しいハイシンドラムポンプシステムのペールシリーズを新発売
- 6月5日を「兵神装備環境の日」として第1回環境大会を開催
- 騒音や排ガスを低減した、大型展示車を製作
- 第3回発明大会にて「メタンハイドレードについて」記念講演実施
- 技術研究所に、地下水を利用した空調ファンコイルを設置

- 省エネや安全に配慮した新しい営業展示車を製作
- 浄水場の薬液注入用ポンプ装置「ハイシンモノポンプ薬注ユニット オールinワン」を発売
- 製品組立工場内に、作業環境を改善する「作業ルーム」を設置

- 本社ビルを省エネを主眼に全面リニューアル
- 社員パソコンに、社外から遠隔操作可能なシンククライアント機能を導入
- 太陽電池、LEDの製造に貢献する「ハイシンマイクロディスプレイセンサー」発売

- 食品製造に貢献するハイジェニックシリーズ「NHL型」、二次電池製造に貢献する新材質「アルミナセラミックローター」を発売
- 夏期・冬期に節電対策を実施
- 日経ニューオフィス賞「近畿ニューオフィス賞特別賞」を受賞

- 食品や薬品の包装技術を支える短型ポンプ「NHL-G型」、耐摩耗性に優れた下水向けポンプ「NE88型」を発売
- 電力不足に対応するため、太陽光発電システムとガスコージェネレーションシステムを導入
- ロボディスプレイND型に採用されている軸シールに関する発明により、文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞
- 東日本大震災の被災地向け復旧支援事業として、東北各地の下水処理施設にモノポンプを納入

2008

- 京都議定書約束期間スタート
- 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」及び「地球温暖化対策推進法」改正
- G8洞爺湖サミット開催(日本)
- 化学物質に関する欧州連合(EU)の「REACH(リーチ)規制」が本格施行
- 東京国際環境会議開催
- 国連環境計画(UNEP)が「環境版ニューディール政策」を提唱
- 全国型エコアクション・ポイント開始(環境省)

2009

- <国内>
- 新型インフルエンザが流行
 - エコカー減税と高速道路料金上限1000円の割引を実施
 - 太陽光発電の買取制度、始動
 - エコポイントでグリーン家電の買い替え促進
- <海外>
- COP15/MOP5、コペンハーゲンで開催
 - 米国を中心に、環境分野への重点的な投資で景気回復や雇用創出を図る「グリーンニューディール」が始動
 - EUで、白熱電球の販売禁止令が発令される
 - 7月の世界の海水温が過去最高を記録

2010

- <国内>
- 生物多様性条約の第10回締約国会議(COP10)名古屋会議の開催
 - 国内高速道路の一部無料化社会実験が開始
 - 国内緊急経済対策として住宅エコポイントが3月から申請受付が開始
- <海外>
- EU、2020年までのエネルギービジョンをまとめた新戦略を公表

2011

- <国内>
- 福島第一原発の事故と、原子力発電の見直しおよび自然エネルギーへの転換加速
 - 電力会社からの節電要請、計画停電の実施
 - 再生可能エネルギー促進法が制定
- <海外>
- 福島原発事故で欧州に脱原発の動き
 - タイで大規模な洪水が発生、多くの工場で操業停止
 - 世界人口が70億人突破

2012

- <国内>
- 京都議定書第一約束期間が終了し、改正京都議定書を採択(COP18)
 - 白熱電球の国内生産が終了
 - 三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興ビジョン
- <海外>
- 中国南部で河川にカドミウムを垂れ流し、市民はペットボトルに殺到
 - 北京市を覆う厚いスモッグ、「PM2.5」が403の数値を示し米大使館が「有害」との判断
 - 「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」20年ぶりにブラジルで開催。国連加盟188ヶ国参加

世の中の動き

当社の活動

- 電力不足に対応するため、太陽光発電システムを新たに300kW増設。また地下水を利用して冷房するファンコイルも増設。
- 下水処理場などで使用する、長期安定した寿命を持つ脱水ケーキ用「SHD」を開発。
- 「びわ湖の日」の7月1日に行われた「琵琶湖・余呉湖一斉清掃活動」に参加。

2013

世の中の動き

<国内>

- 記録的猛暑、四万十市で観測史上最高気温41.0度を観測
- 福島第一原発で地下水の流入による汚染水の増加と貯蔵槽からの放射能汚染水漏れ
- 富士山の世界文化遺産登録と入山料論議

<海外>

- 中国でPM2.5等の大気汚染による濃霧が過去50年で最多
- 水銀に関する水俣条約の採択92か国署名、2020年以降使用・廃棄が規制される
- 猛烈な台風がフィリピン中部を直撃、約1600万人が被災

Q1:この環境報告書をお読みにってどうお感じになりましたか。(1つだけ○をつけてください)

1. 読みやすさはいかがでしたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

2. 内容はいかがでしたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

3. 兵神装備の環境問題への取り組みはどう評価されましたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

4. この環境報告書をお読みにって、物足りない内容や改善した方がよい点がありましたら、具体的にお聞かせください。

Q2:兵神装備の環境問題の取り組みについて、どのようなことをご希望されますか?具体的にお聞かせください。

Q3:この環境報告書をどのようなお立場でお読みにっていらっしゃいますか?

- 1.金融・投資関係 2.格付機関 3.行政関係 4.事業所近隣住民 5.製品購買関係 6.環境の専門家
7.報道関係 8.企業の環境担当 9.学生 10.製品ユーザー 11.その他具体的に()

ご協力ありがとうございました。

お差し支えない範囲でご記入をお願いいたします。

(ふりがな)
お名前

ご住所 〒

ご職業・ご勤務先

TEL:

FAX:

E-Mail: